

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

<http://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 平成29年2月25日

第72号



▲涅槃会=2月5日、松禪寺

如来のまなざし

悠遠の時を越えて、
いまここにあるもの。

果てしない空間をつらぬいて、
遍くあるもの。

数えきれないたくさんの
生命を見つめ

その一つ一つを

慈しみ抱きとめるもの。

如来のまなざしとは、

そのようなものではないか。

微かにも

笑ませ給いし

涅槃像

平成29年度評議員総会を開催

決算予算はじめ本堂用の机とイスの購入などを承認

松禪寺花園会の予算決算などを協議作成する総代会を1月22日(日)の午後1時半より開催、続いて承認可決を得るための評議員総会を2月5日(日)午前10時より開催しました。総会には参与(住職)、総代6人、評議員14人(総代1名兼務)が出席しました。

会議に先立ち本堂において、涅槃会を営みました。本堂正面に掲げた涅槃図の前で、出席者全員で読経し焼香しました。松禪寺が所有する涅槃図を間近に見ていただく機会となりました。

総会では平成28年度の事業報告と通常会計決算報告、特別会計決算報告、祠堂金積立金の報告、霊園会計決算報告を行い、すべて承認



▲評議員総会=2月5日、松禪寺

認可決されました。続いて平成29年度の事業計画と通常会計予算を提案しましたが、これも原案どおり承認可決されました。本年度の事業では、一昨年から続いている境内掃除を、

今年も5月28日と7月30日の、いずれも日曜日の午前8時から約2時間にわたり、草刈りや掃き掃除などの作業を行っていただく予定です。5月は、

清滝、本城、柴地、大貝、佐田、石原、久畑。7月は、上山根、下山根、貝田、平田、中路、宮本、檜谷で、それぞれ評議員と協力者約1名を予定しています。万一の事故に備えて保険にも加入しています。

また、春秋彼岸会や達磨忌などのお斎(昼食)の際に、イスに腰掛けて食事ができるようにと、

長机とイスを購入することになりました。足が痛いのでお参りは控えようかという声も聴かれる中、ぜひ安心してお参りいただければ幸いです。なお、購入資金は特別会計より支出することで、承認を得ました。

さらに、駐車場北側の墓地の上段側に、参拝者の安全確保のために手すりを設けることにしました。この経費については、霊園会計のなかで執行いたします。

通常会計予算は、昨年度の執行状況を鑑みて予算編成していますが、昨年と大きく変わる項目はありません。

なお、この評議員総会で承認可決いただきました資料等につきましては、檀信徒向けに別途配布いたします「松禪寺花園会資料」をご参照ください。

平成29年度

松禪寺花園会役員(敬称略)

参与 住職 高橋乾峰

会長 平石 義信(栗尾)

副会長 浅田 鑑三(久畑)

総代・会計 柴田 巧(栗尾)

総代 横谷 憲治(佐田)

総代 福田 春彦(平田)

総代 榎本 新二(佐々木)

評議員 藤田 優(清滝)

評議員 酒井 敏則(本城)

評議員 柴田 秀幸(柴地)

- 評議員 中島 一之(上山根)
- 評議員 武田 達夫(下山根)
- 評議員 松本 貞之(貝田)
- 評議員 横谷 憲治(大貝)
- 評議員 中島 英三(佐田)
- 評議員 中島 信之(石原)
- 評議員 藤田 滝夫(久畑)
- 評議員 福田 達也(平田)
- 評議員 久世 善樹(佐々木)
- 評議員 榎本 好道(宮本)
- 評議員 榎本 弘明(榎谷)

以上

通常会費納入にご協力ください

平成29年度の松禪寺花園会予算が、2月5日開催の評議員総会で承認可決されましたので、通常会費(前期分)、賛助会費(年間分)の納入をお願いいたします。各評議員さんより納入依頼がありますので、何卒よろしくご協力ください。遠方の会員さんには、郵送によつてご依頼いたします。

松禪寺の護持は、護持と発展を願う檀信徒皆さま方の護持会費で運営されております。これは、今は亡き皆さま方のご先祖様と共にひたすら仏道に精進する当寺院には欠かすことのできない血脈であることは言うまでもありません。何卒よろしくお願いいたします。

老いのみち

意地っぱりで、意地悪で、何かという大家族が嫌がるようなことをしたり、言ったりしていたおじいさんが、あるときから、急に優しくなってきた。何かをしてもらったときには、「ありがとう」などと、今まで言ったことのない礼を言うようになった。家族一同があきれたり感心したりするようなことがあった。

しかし、家族が喜んだのもつかの間、おじいさんは間もなく亡くなってしまわれた。

このような例を聞くことはよくある。扱

いにくくて困っていた老人が、扱いやすくなって喜んでいたら、それはしばらくの間だったなどという話である。こんな例について話し合っているとき、それはその人が「ホトケ」になっていくからだと言った人がある。確かに、考えてみると、顔つきや仕草などが、ほんとうにホトケさんのように感じられるのだから、やっぱり、人間は死んだらホトケになるというのも納

得できる、というわけである。

ところが、これにすぐ反論する人があって、死ぬ寸前まで悪態をついたり、いやみを言ったりした人もあったというのである。これに対して、「それはホトケになるはずのところ、オシャカになられたのだらう」という冗談で、「不謹慎だ」などと言いつつ大笑いした。ホトケの道とオシャカの道と、道は異なるようだが、人間はやっぱり死んだら成仏するということなのだらう。有り難いことである。できればホトケの方を歩みたいものだが。(読売新聞H三、二、二二夕刊)



定期巡教

松禪寺で過ごす

春彼岸

平成29年

彼岸会

3月20日（月／春分の日）

午前11時より本堂にて法要

※当番に当たる方は、午前8時30分にお集まりくださいますようお願いいたします。

皆様のお参り・ご参加をお待ち申し上げます・・・

3月21日（火） 午前10時開教

テーマ・・・おかげさま〜三宝の恩〜仏法ありがたし

布教師・・・青井直信師（福岡市・勝楽寺）

